

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

施設名	南大沢西 学童保育所
-----	------------

視点	評価項目	6月			9月			12月			所管課 期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)				
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	職員配置(常勤数、非常勤数、加配数)・放課後児童支援員	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B 支援単位に合った適正配置である。	B		B	支援単位に合った適正配置である。						
	月報(学童保育状況報告書)・日報(育成日誌兼業務記録)を作成しているか	B	月報、日報は適切に作成している。また、法人独自のミーティングノートや職員同士で情報を共有する連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、子どもの進捗の状況を記録することで、全職員、全学童で情報を共有し、後継につなげる取組みを行っている。	B 適切に作成している。	B		B	適切に作成している。						
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	B	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B 適正かつ明確化が図られている。	B 問題なし	B		B	問題なし					
	収支計画が適正であること	B	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか【給与規程・貸金台帳・事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B 適正に執行されている。	B 問題なし	B		B	問題なし					
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか【研修件名・内容】	B 応急救護研修、保育実践研修など法人フック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。	B 虐待防止研修を実施。職員倫理規定並びに児童福祉サービスガイドラインを使用し、虐待などの不適切行為の防止について研修を実施した。	B		B	B 応急救護研修に参加し、AEDの使用方法や初応急救護体制について学習した。					
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B	事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例:財務諸表・財務評価表】	B 適正である。	B 問題なし	B		B	問題なし					
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	入退所関係書類が遅滞なく処理されているか	B		B 適切に処理されている。	B		B	適正に行われている。						
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	開所日数、開所時間は守られているか【日報、月報・事業報告書】	B 問題なし	B		B	問題なし						
	設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか	B	文書の管理・保存が適切に行われているか【ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。	B 適正に行われている。	B		B	適正に行われている。					
	設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか	B	設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか【事業報告書・実地調査】	B 職員による日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。事務室レイアウト変更を行い、児童の動きや、出入口付近の様子がよくわかるよう、備品の配置を工夫している。また、収納整理を善く、整理整頓が実行されている。児童の視点で児童が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる点を評価した。	B 適正に行われている。	A		B	適正に行われている。					
	備品の管理が適切に行われているか	B	備品の管理が適切に行われているか【備品台帳・実地調査】	B 適切に管理されている。	B 問題なし	B		B	問題なし					
	施設のサービス向上・利用者の増加等を図る方策が図られているか	利用者の満足度3.0【利用者満足度調査】												
放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか		A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策を双方で協力して行っている。放課後子ども教室への参加については、学童保育所及び運営団体の受付担当者との綿密な連携により、児童が双方の活動に柔軟に参加できるよう配慮されており、両者の一体的な連携が図られている。	B 問題なし	B		B	問題なし						
利用者からの苦情処理の体制がとれていること		B	苦情解決の体制(解決責任者の設置・受付担当者の設置)を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B 苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有するなど適切な対応がされている。	B 問題なし	B		B	問題なし					
利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか		B	保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか【おたより、連絡帳】	B 保護者会、おたより、連絡帳やアプリを使い、保護者へ活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。	B おたより・連絡帳・まちcomi配信を通じて、適切に行なっている。	B		B	おたより・連絡帳・まちcomi配信を通じて、適切に行なっている。					
学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか		A	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	B 児童について、学校との情報共有をはじめ、後継に図る関係機関との連携を図っている。学校プール利用においては学校と連絡調整を行い、実施に向けて準備を行っている。また、グリーンエコ活動などの地域行事では、地域との交流を深めるとともに、子どもの進捗について、学童職員から子どもに説明することで、自分の環境を子ども自身が選択できるように取組みを行っている。	B 問題なし	A		A	学校との情報共有をはじめ、状況に応じて関係機関との連携を図っている。学校プール利用においては学校と連絡調整を行い、実施に向けて準備を行っている。子ども自身の環境を子ども自身が選択できるように取組みを行っている。					
資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること		A	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(H-EMS:ホームズ)」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等】	B 節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取組みがなされている。また、職員はSDGs研修へ参加し、理解を深めるとともに、学童の環境学習においてSDGsの学習や児童自身が出来る取組みを考えさせ、家庭において実践されている。	B 問題なし	A		A	節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取組みがなされている。また、職員はSDGs研修へ参加し、理解を深めるとともに、学童の環境学習においてSDGsの学習や児童自身が出来る取組みを考えさせ、家庭において実践されている。児童の中で習慣づけを重視した継続的な取組みを評価した。					
行政の委ねられる事業の達成に貢献する観点から、事業が体	年間行事が事業計画どおり実施されているか【行事計画書、行事参加者名簿】	B		B 計画どおり実施されている。	B		B	小学校のプールを借用し、プール遊びを実施				B 手作り昼食・飯盒炊飯体験・3年生の希望者は宿泊キャンプを実施した。		
	防災訓練等(地震、火災、不審者、交通ルール等)は事業計画どおり実施されているか	B		B 地震を想定した避難訓練、防災教育など計画的に実施されている。	B		B	問題なし				B 問題なし		
	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか【保管庫の施設、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B 個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施設付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。	B 問題なし	B		B	問題なし					
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【保険証券】													
	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	B	事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に入行するよう責任、手順(マニュアル)等を明確にし、体制が整えられているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B 方が一の事故や災害に備え、適切な対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。	B 問題なし	B		B	問題なし					
	事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B 全体で安全対策委員会を組織し、事故にふなりそうない「ヤリハット」の情報収集を行い全体に周知している	B		B		B 全体で安全対策委員会を組織し、事故にふなりそうない「ヤリハット」の情報収集を行い全体に周知している					

期末総合評価	
所管課コメント	